

# ■ こどもたちの学び・活動が地域や社会につながる老西っこを育成 (老上西学区まちづくり協議会こども育成部会：地域協働合校推進委員会共催事業)

## 1 【活動の趣旨】

こどもの主体性を育むことを念頭に、どのような活動をするのかは「こども実行委員会」においてこどもたちで企画し運営する。



【こども実行委員会会議】

## 2 【特徴的な活動内容】

○「自然宿泊体験」岐阜県岐阜市立『少年自然の家』  
こども実行委員と小学校児童(4年生～6年生)を対象に、少年自然の家を利用して宿泊生活を体験した。

自然体験では、自然の中で育った葉っぱなどを各自で拾い集め、押し花キーホルダーづくりをした。夜には班別でナイトハイクを行い、班行動を通じて目的に向かう主体性や協調性を学び、絆を深めた。

実施日 10月11日(土)・12日(日)

こども22名 大人7名

○「ふれあい音楽まつり」模擬店：千本つり

こども実行委員で初めてまつりで模擬店を出店。

こどもたちで計画・協力し合い、千本つりの準備から販売・接客・お金の管理をし、模擬店販売での体験をした。

完売したときの達成感や人とのつながりを学んだ。

実施日 11月8日(土)

○「にこにこ食堂」駄菓子屋

主催ボランティア団体たすけ愛隊「ママの手」との共催で今回の催し物である『駄菓子屋』で実際のお仕事を体験し、働くことの喜びや大切さを学んだ。

実施日 12月20日(土)



【押し花キーホルダー】



【ナイトハイク】



【千本つり】

## 3 【実施に当たっての工夫】

こどもが中心となり運営・企画を行ったが保護者を中心にサポーターを募り、後方での支援を実施した。

## 4 【事業の成果】

様々な事業を通して、こども実行委員の主体性・協調性企画力の向上がみられ、各自が達成感を味わうことができた。



【駄菓子屋】

## 5 【事業の今後の展望】

こども実行委員として活動したこどもたちからは協調性や達成感が感じられた1年だった。今後も引き続き地域とのかかわりや世代を超えた協働活動での参加を求めている。